

宮地和幸\*・野呂忠秀\*\*・新村 巖\*\*\*：田中 剛先生の御逝去を悼む  
 Kazuyuki Miyaji\*, Tadahide Noro\*\* and Iwao Shinmura\*\*\*:  
 Obituary; Dr Takeshi Tanaka (1907-1997) in memoriam.



元鹿児島大学水産学部長、同大学名誉教授田中 剛先生は、去る平成9年11月10日に鹿児島市内の病院で病氣療養中のところ、薬効の甲斐なくお亡くなりになりました。享年九十歳でした。先生は明治40年(1907)8月8日に福岡県柳川市でお生まれになりました。昭和6年4月に新設間もない北海道帝国大学理学部に入学し、山田幸男先生の門下生として昭和9年北海道帝国大学理学部を卒業されました。卒業後副手を経て助手となり、昭和21年まで北海道帝国大学に勤務されました。その後、鹿児島水産専門学校の創設とともに教授として赴任し、昭和24年新制の鹿児島大学水産学部が創設されると同時に教授に就任、昭和48年4月までその地位におられました。昭和43年から定年までの5年間は学部長の要職にありました。その間戦後の混乱の中で水産専門学校の創設期を経て、引き続き新制大学水産学部への改組のために力を尽くされました。また、学部長時代には大学院の創設にも大きく貢献をされました。定年退官後は南日本短大の教授となり、昭和52年までその職にありました。さらに、昭和50年から鹿児島県自然環境保全審議会委員を委嘱され、昭和57年から平成6年までは同会長の職にありました。

田中先生の卒論テーマは「日本産ガラガラ属の分類

学的研究]でした。先生自身の採集記によりますと、山田幸男先生から200円という大金を調査費としていただき、約2ヶ月間も台湾各地を採集し、その足跡は台湾最南端の鶯鑿鼻(ガランピー)、付属島の紅頭嶼、火烧島にもおよんでおります。卒業後の研究としては日本産イバラノリ属の分類学的研究をおこない、また恩師である山田先生との共著の研究も幾つかあります。学位論文は「日本産原始紅藻類の分類学的研究」でした。当時既に水産講習所(現東京水産大学)の殖田先生が日本産アマノリ属の分類学的研究を発表していましたが、アマノリ属以外の原始紅藻類に関する分類学的研究はなく、その御研究はその当時最高のものでした。学位を取得されたのは昭和24年で、既に鹿児島へ移られており、その事前の打ち合わせのために鹿児島から札幌まで汽車で何回か往復なされたとお聞きしています。当時は食糧事情も悪く鹿児島特産の灰汁(あく)巻きを持参して、その道中の飢えをしのいだと話しておられました。

戦後、鹿児島大学に移られた田中先生は二つの方向で研究をされました。その一つは鹿児島から南に広がる南西諸島の海藻相を明らかにする研究です。そのために田中先生は種子島から与那国島に至る南西諸島の島々に採集に行かれております。その中で、鹿大水産学部の練習船を使って、宇治群島、琉球諸島、フィリピン北部のバタン諸島等に海藻相の調査を行いました。その他にも種子島や屋久島周辺海域などには幾度となくドレッジ採集を行い、新しい海藻の発見につとめました。その成果は鹿大水産学部紀要などに多数の論文や報告書として発表されています。田中先生は海外での経験も豊富で、昭和33年にカリフォルニア大学バークレイ校のパーベンフス教授のもとに9ヶ月留学され、昭和36年にはフランスで最初の学会発表を行いました。前述のフィリピン北部バタン諸島調査は昭和39年10月から1ヶ月間行われました。ベトナムには昭和36年2月から8月までの6ヶ月間南ベトナムのサイゴン大学(当時)で研究をなされました。「日本産海藻目録1995」によれば(吉田ら1995)、先生が新属として記載した属は3属、新種として記載した種は41種、新組み

合わせは4種でした。このように日本の海藻の分類学に大きく貢献をなされました。

田中先生の研究のもう一つの側面として藻類の応用に関するものが上げられましょう。先生は鹿児島県でのアマノリ属の養殖を広め、出水地方の養殖事業を成功に導きました。昭和23年頃、出水地方の海苔養殖を成功させるために、自ら海に入られて、女竹ヒビの建て込みを行ったとそうです。また、鹿児島県下のワカメやヒトエグサの養殖事業にも参画し、沿岸漁業の発展にも貢献しました。戦後日本人を悩ました寄生虫である回虫の駆除成分を持っているマクリやハナヤナギの資源量調査をおこない、増殖事業も推進しました。そのような功績から南日本文化賞（南日本新聞社）を昭和29年に受賞されました。

その他に、自然保護活動にも先生は積極的に関係され、南九州の国立公園や海中公園に関する調査には常に参画しておられました。またその他にも、天然記念物であるチスジノリの分布調査を晩年まで行い、その結果は弟子の一人である田代一洋氏とともに「宮崎県域の川内川における紅藻チスジノリの生育分布について」を発表しました。これが先生最後の論文でした。

学会活動は日本藻類学会の発会には発起人の一人として参加され、長く評議員として、藻類学会の発展に寄与されました。また、日本水産学会においても九州支部評議員を歴任しております。

先生の思い出で最も印象にあるのは非常に健脚であったということです。特に海岸では岩から岩へ飛ぶように渡り、その早さには若い学生もついていけないほどでした。これは80歳を過ぎては変わりませんでした。それと、非常に記憶力が優れていたことです。特に、海藻のことになると抜群でした。例えば、弟子の故糸野洋鹿児島大学教授が採集した珍しい海藻標本を見て、たちどころにこれは誰それのところで見た〇〇に良く似ていると、その種名を上げたものでした。また、先生は話し好きで、昼休みなどに昔の採集であったおもしろい話や怖かった話などをよく学生にしておられました。

まだ、まだ先生の思い出やエピソードはつきないですが、最後に先生の主なる業績を紹介し、ご冥福をお祈りして、筆を擱きたいと思います。

(\*274-8510千葉県船橋市三山2-2-1東邦大学理学部生物学教室・\*\*890-0056鹿児島市下荒田4-50-20鹿児島大学水産学部・\*\*\*890-0082鹿児島市紫原2-26-9)

## 主要業績目録

- Yamada, Y. and Tanaka, T. 1934. Three new red algae from Formosa. *Transaction of the Natural History Society of Formosa* 24:342-349.
- 田中 剛 1935. 日本産ガラガラ属の分類学的研究. 北海道帝国大学理学部海藻研究所報告 No.4:17-47.
- Tanaka, T. 1935. Four new species of *Galaxaura* from Japan. *Scientific Papers of the Institute of Algological Research, Fac. of Sci., Hokkaido Imp. Univ.* 1:51-57.
- Tanaka, T. 1936. The genus *Galaxaura* from Japan. *Scientific Papers of the Institute of Algological Research, Fac. of Sci., Hokkaido Imp. Univ.* 1:141-173.
- Yamada, Y. and Tanaka, T. 1938. The marine algae from the Island of Yonakuni. *Scientific Papers of the Institute of Algological Research, Fac. of Sci., Hokkaido Imp. Univ.* 2:53-86.
- Tanaka, T. 1941. The genus *Hypnea* from Japan. *Scientific Papers of the Institute of Algological Research, Fac. of Sci., Hokkaido Imp. Univ.* 2:227-250.
- 田中 剛 1944. 讃岐産海藻の二種. *植物研究雑誌* 20:150-168.
- 田中 剛 1944. 日本産うしけのり綱植物の分類学的研究(その1). *植物研究雑誌* 20:217-224.
- 田中 剛 1944. 日本産うしけのり綱植物の分類学的研究(その2). *植物研究雑誌* 20:248-254.
- Yamada, Y. and T. Tanaka 1944. Marine algae in the vicinity of the Akkesi Marine Biological Station. *Scientific Papers of the Institute of Algological Research, Fac. of Sci., Hokkaido Imp. Univ.* 3:47-77.
- Tanaka, T. 1944. The Japanese species of Protofloridae. *Scientific Papers of the Institute of Algological Research, Fac. of Sci., Hokkaido Imp. Univ.* 3:79-97.
- Tanaka, T. 1950. Studies on some marine algae from southern Japan, I. *Journal of the Kagoshima Fisheries College* 1:173-180.
- Tanaka, T. 1950. On the species of *Bangia* from Japan. *植物学雑誌* 63:163-169.
- Tanaka, T. 1951. The Species of *Erythrotrichia* from Japan (1). *Acta Phytotax. Geobot.* 1:96-100.
- Tanaka, T. 1952. The systematic study of the Japanese Protofloridae. *Memoirs of the Faculty of Fisheries, Kagoshima University* 2:1-92.

- 田中 剛 1953. マクリ(海人草)の生育年限と両性胞子の発生について. 日本水産学研究誌 13:428-432.
- 田中 剛・小味山太一 1954. マクリ(海人草)の幼体発生について. 鹿児島大学水産学部紀要 3:73-75.
- Tanaka, T. 1956. Studies on some Marine Algae from southern Japan, II. Memoirs of the Faculty of Fisheries, Kagoshima University 5: 103-108.
- 田中 剛 1956. 第1報 Fission Productsによる海藻類の汚染について. 鹿児島大学水産学部紀要 5: 205-209.
- 田中 剛 1957. 奄美群島, 与論島の堡礁上の海藻相(予報). 南方産業科学研究所報告 2(1):27-29.
- 田中 剛 1960. 奄美群島, 与論島の堡礁上の海藻相. 南方産業科学研究所報告 2(2):5-9.
- Tanaka, T. and Nozawa, Y. 1960. One red algal parasite from Japan. Memoirs of the Faculty of Fisheries, Kagoshima University 9:107-112.
- Tanaka, T. 1960. Studies on some marine algae from southern Japan-III. Memoirs of the Faculty of Fisheries, Kagoshima University 9:91-105.
- 田中 剛・野澤治治・野澤ユリ子 1962. 本邦産海産顕花植物の分類について. 植物分類地理 20:180-183.
- Tanaka, T. and P-H. Ho 1962. Notes on some marine algae from Viet-Nam-I. Memoirs of the Faculty of Fisheries, Kagoshima University 11:21-40.
- 田中 剛, 野澤治治, 野澤ユリ子 1962. 南西諸島に産する seagrass について. 南方産業科学研究所報告 3:105-111.
- Tanaka, T. and Nozawa, T. 1962. Some notes on the genera *Padina* and *Zonaria* in the southwestern Islands of Japan. Memoirs of the Faculty of Fisheries, Kagoshima University 11:179-187.
- Tanaka, T. 1963. Studies on some marine algae from southern Japan-IV. Memoirs of the Faculty of Fisheries, Kagoshima University 12:64-73.
- Tanaka, T. 1964. Studies on some marine algae from southern Japan-V. Memoirs of the Faculty of Fisheries, Kagoshima University 12:75-91.
- 田中 剛 1964. 鹿児島県下の水産植物. 鹿児島県自然誌 11:119-132.
- 田中 剛・新村 巖・久保睦彦 1965. アマノリ類品種間における生育に及ぼす光条件の検討. 藻類 8:37-43.
- Tanaka, T. 1965. Studies on some marine Algae from southern Japan-VI. Memoirs of the Faculty of Fisheries, Kagoshima University 14:52-71.
- Tanaka, T. and Hosoi, T. 1967. The electron microscopic observation on the zoospore of *Undaria pinnatifida* Sur. Memoirs of the Faculty of Fisheries, Kagoshima University 16:1-11.
- Tanaka, T. 1967. Some marine algae from Batan and Camiguin Islands, Northern Philippines-I. Memoirs of the Faculty of Fisheries, Kagoshima University 16:13-27.
- 新村 巖・椎原久幸・田中 剛 1967. イチマツノリの糸状体の殻胞子放出におよぼす日長条件. 藻類 15:123-126.
- Tanaka, T. and H. Itono 1969. On the Species of *Avrainvillea* from southern Japan. Memoirs of the Faculty of Fisheries, Kagoshima University 18:1-6.
- Tanaka, T. and Itono, H. 1969. Studies on the genus *Neurymenia* (Rhodomelaceae) from southern Japan and vicinities. Memoirs of the Faculty of Fisheries, Kagoshima University 18:7-27.
- Tanaka, T. and Itono, H. 1972. The marine algae from the Island of Yonaguni-II. Memoirs of the Faculty of Fisheries, Kagoshima University 21:1-14.
- Cordero, P. A. Jr. and Tanaka, T. 1972. Genus *Halimeda* from Camiguin Island, Northern Philippines. The Bulletin of Japanese society of Phycology 20:83-89.
- Itono, H and T. Tanaka 1973. *Balliella*, a new genus of Ceramiaceae (Rhodophyta). Bot. Mag. Tokyo 86: 241-252.
- Tanaka, T and H. Itono 1977. On two species of Chlorophyta from southern parts of Japan. The Bulletin of Japanese Society of Phycology 25: 347-352.
- 田代一洋・田中 剛 1997. 宮崎県域の川内川における紅藻チヌジノリの生育分布について. 宮崎水産試験場研究報告 (6): 13-15.

